

# 作 唐十郎

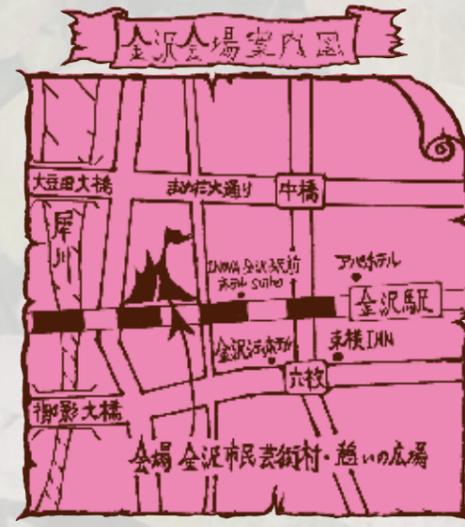
演出 久保井研十郎

## 唐組・第69回公演

# 改訂の巻 秘密の花園

日暮里はキャバレーの多い町です。  
日暮里は、鶯谷の先にあり、主に、  
乗り換えに使われる駅であることも知っています。  
でも、日暮里駅の前に、  
一本の、うるしの木があることは忘れてました。

劇 唐組 団



[スタッフ]  
絵= 合田佐和子  
作曲= 安保由夫  
宣伝美術= 海野温子  
演出助手= 加藤野奈  
舞台美術= 大鶴美仁音+紅美術団子  
照明= 重村大介  
音響= 福原由加里  
舞台監督= 全原徳和  
衣装= 藤井由紀

2022 AUTUMN



## 唐組『改訂の巻 秘密の花園』金沢公演

[公演場所・公演日程]

金沢市民芸術村・憩いの広場 特設紅テント  
(石川県金沢市大和町1-1)

2022年10月21日(金)22日(土)

開演時間 毎夕7時 (6時30分開場)

入場料= 一般: 3,800円 / 大学生以下: 3,000円

※入場整理券(前売券と引き換え)及び当日券は、午後3時より受付にて発行します。  
※小学生未満のお子様の入場はご遠慮下さい。

前売開始 9月15日(木)

チケット取扱所

金沢市民芸術村、香林坊大和プレイガイド、イープラス

チケットぴあ(Pコード 515-023)

ローソンチケット(Lコード 53788)

問合せ=金沢泉鏡花フェスティバル委員会事務局

☎076-220-2442 FAX 076-220-2069

E-mail=kyokafes2022@gmail.com

【ご来場のお客様へのお願い】

マスク着用でのご来場をお願い致します。

ご入場時は検温にご協力ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う、公演の最新情報やご協力  
のお願いについては随時、劇団ホームページでお知らせ致します。

## 泉鏡花文学賞制定50周年記念 金沢・鏡花ウィーク 金沢泉鏡花フェスティバル2022

開催期間 令和4年10月19日(水)~23日(日)

開催会場 金沢市民芸術村

主催 金沢泉鏡花フェスティバル委員会

共催 金沢市 特別協力: 北国新聞社

23日(日) 14:00~17:30  
会場 パフォーミングスクエア 要申込み(入場無料)  
申込先 金沢泉鏡花フェスティバル委員会事務局(金沢市文化政策課内)

【授賞式】 14:00~15:30

第50回 泉鏡花文学賞 / 泉鏡花記念金沢市民文学賞  
第6回 泉鏡花記念金沢戯曲大賞

【文芸フォーラム】 15:30~17:30

■シンポジウム テーマ「鏡花文学賞の今とこれから」  
パネリスト(敬称略)

泉鏡花文学賞選考委員: 五木寛之、村松友視、金井美恵子、  
嵐山光三郎、山田詠美、綿矢りさ

市民文学賞選考委員: 蔵角利幸

コーディネーター 泉鏡花文学賞推薦委員 秋山稔

■特別講演会 泉鏡花文学賞選考委員 金井美恵子

■泉鏡花作品朗読 高輪真知子(朗読小屋 浅野川倶楽部)

【演劇】

■第6回泉鏡花記念金沢戯曲大賞作品 「水向茶碗」公演  
作/武石最中 演出・構成/島貴之

19日(水) 20日(木) 19:00~ / 22日(土) 11:30~、17:00~ / 23日(日) 11:30~

会場 PIT2 ドラマ工房

入場料 一般前売 2,000円(当日2,500円)

大学生以下 500円(前売・当日共に)

オンライン予約 カルテットオンライン (9月15日より発売、当日精算)

チケット取扱 金沢市民芸術村、石川県立音楽堂チケットボックス

■劇団唐組「秘密の花園」公演

作/唐十郎 演出/久保井研十郎

21日(金) 22日(土) 開演19:00~(開場18:30)

会場 憩いの広場 特設紅テント

【茶会】

■鏡花記念茶会

22日(土) ①10:00 ②11:00 ③12:00 ④13:00 ⑤14:00

会場 里山の家 要申込み

料金 500円(10月3日より申込受付・各回先着12名)

申込先 金沢泉鏡花フェスティバル委員会事務局(金沢市文化政策課内)

■鏡花の部屋

①出張金沢文芸館「泉鏡花文学賞50年の歩み」

受賞作家の紹介、受賞作品の展示 毎日開催

会場 PIT3オープンスペース 入場無料

②体感! 高野聖の映像屋敷

映像・朗読・音の表現による体感型イベント

毎日開催 13:00~17:00(最終日は15:00まで)

会場 PIT5アート工房 入場無料

③現代散楽 in 金沢泉鏡花フェスティバル2022

鏡花の幻想的な世界を表現した散楽等の音楽舞台

21日(金) 18:30~(18:00開場) / 22日(土) 13:00~(12:30開場)

会場 パフォーミングスクエア

料金 一般 3,500円 学生・高校生以下 1,500円

④鏡花や舞台を九九九倍楽しむためのトーク

国内で活躍する劇評家等による鏡花舞台の見所紹介

22日(土) 19:00頃~、23日(日) 13:30頃~(戯曲大賞終演後)

会場 れんが亭 有料

⑤音魂 2022 in 3工房合同企画「秋の幻想楽」

鏡花の世界を表現したコンサート

23日(日) 13:30~(13:00開場)

会場 PIT3オープンスペース 入場無料

問合せ=金沢泉鏡花フェスティバル委員会事務局(金沢市文化政策課内)

TEL=076-220-2442 FAX=076-220-2069

E-mail=kyokafes2022@gmail.com

www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bungaku/festival2022.html

①~⑤の問合せ先  
金沢市民芸術村  
詳細についてはこちら



唐組・第69回公演

# 秘密の花園

改訂の巻

「変わらぬものを探して」

久保井 研

「秘密の花園」は唐戯曲の中でもくり返し上演されている。我々も幾度となくこの作品と向き合い、上演してきた。泉鏡花「龍潭譚」のモチーフを唐流に料理し、下町日暮里を舞台にその風景が色濃く漂う物語だ。駅前にあった一本のうるしの木。それによってかぶれてしまった青年アキヨシとそのプラトニックな想いの相手となつていくホステス・いちよ。その夫であるポン引き大貫との三者三様の愛が、日暮里の坂をめぐり繰り広げられる。それらの人を取り巻く、町の人々、輩、殿と呼ばれる町の有力者などなど。無さそで有りそな摩訶不思議な「町の営み」が果てしなく続く。この三年、町からは日常が遠ざかり、「しようがない、しようがない」と営みの有り様を変え続けている。その一言とともに、移り変わりを受け入れてしまふことへの怖さはないのか。失なってしまう戻れなくなることへの恐しさは……。

「なつてしまったものはしようがない」とあきらめてしまふのではない。「創ってしまったものは……、演ってしまったものはしようがない」とはならないものか。

流れに抗い、生きぬく術を探して。

## 「物語」

日暮里にあるひしゃげたアパート。そこに暮らす夫婦の元に、アキヨシは通っている。キャバレーホステスの一葉とポン引きの夫、大貫。アキヨシは毎月の給料を二人のところへ届けているのだ。託児所で火事を出し、その負債から水商売に身を落とした夫婦ははかることなくアキヨシの給料を期待している。

アキヨシは「一葉にプラトニックな思いをいだいていた。夫の大貫も金のためか、そんなアキヨシの割込みを容認。奇妙な三角関係は二年続いている。

一葉はアキヨシにあるおとぎ話をよく語り聞かせた。それは生まれる前の港で、契りをおかしたというメルヘンである。

「きつと緒だよ、向うに着いてもきつとね」と。

その一方で一葉は、かじかから執拗な求婚を受けていた。町中の女たちが自分のモノと信じて疑わなにかじかか殿の威を持つてすれば女という女は自分になびくと豪語する。しかもかじかに無理やりはめられた婚約指輪はまじないがかかったかの様に一葉の薬指から抜けないのだ。

そんな中、アキヨシが告げる一葉への衝撃の告白。姉の双葉もそこにあらわれ……

日暮里の森の中、また秘めたる廃園の扉が開く！

## 「登場人物」

いちよ(双葉)……日暮里のアパートに住むキャバ女。月末になるとアキヨシの給料を期待する。アキヨシの姉。いちよとこか似ている。

大貫……いちよの部屋に通つて二年。が、転勤の日近い。いちよの夫。妻とアキヨシのキスを恐れる。

かじか……日暮里の王子様を自称する自転車狂。いちよに婚約指輪を贈る。

殿……日暮里の殿とたてられる実力者。その力も坂の中段まで。いちよの同業者。幼児預り所で子供を亡くしてから、男がみな、成長したジローにみえる。

千賀……風の子。背負うべき男をさがしている。夢と現実の境に二本の糸を引くのが楽しみ。中年男……背負うべき男をさがしている。夢と現実の境に二本の糸を引くのが楽しみ。野口医師……人工夢遊病を解く精神科医。フランツ・アントン・メスメル磁気ヘッドを引っぱって歩く。



久保井研



藤井由紀



加藤野奈



重村大介



升田愛



松本遼平



全原徳和

金子望乃 壺阪麻里子



稲荷卓央



福原由加里



大鶴美仁音



栗田千亜希



藤森宗



西間木美希



友寄有司



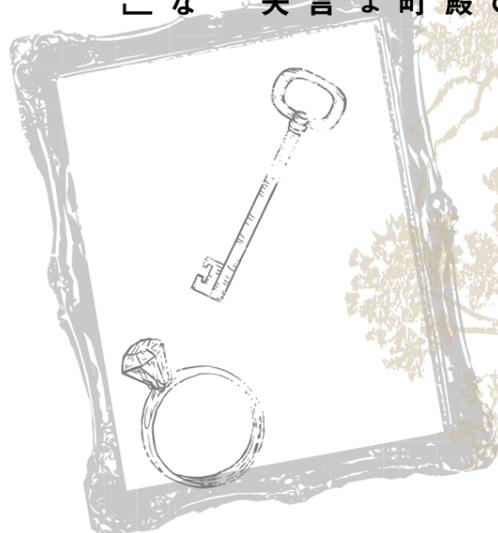
工藤梨子



岩田陽彦



中村健



作唐十郎

演出久保井研+唐十郎